

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 30 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 1 日 作成

事務事業名		人権啓発運動団体運営支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名 塩地由梨
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践	所属班	啓発教育班	(内線) 2427
				法令根拠		

予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 8	事業連番 10882	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 ⑫	コスト削減優先度評価結果 ①
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
部落解放同盟合志市支部及び全日本同和会合志支部の活動に対して、団体へ活動運営費として補助金を交付する事業。

【業務の流れ】
合志市補助金等交付規則に基づく各種事務。

【主な予算費目】補助金(部落解放同盟合志市支部補助金、全日本同和会合志支部補助金)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 部落解放同盟合志市支部及び全日本同和会合志支部の活動に対して、団体へ活動運営費として補助金の交付。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 部落解放同盟合志市支部及び全日本同和会合志支部の活動に対して、団体へ活動運営費として補助金の交付。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	人権啓発運動団体	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 研修会等開催回数 回 イ 研修会等参加回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	人権啓発運動団体の適切な活動・運営ができること。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人権啓発運動団体の員数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	人権を尊重する活動に取り組むようになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 適切な運営が出来なかった件数 件
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 過去1年間で人権教育啓発活動に取り組んだ人の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	7,831	7,048	7,048	7,048	7,048	7,048	7,048	
	(A) 事業費計	千円	7,831	7,048	7,048	7,048	7,048	7,048	7,048	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	5	5	4	5	5	
	延べ業務時間	時間	72	150	150	145	150	150	150	
	(B)人件費計	千円	286	597	597	577	597	597	597	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,117	7,645	7,645	7,625	7,645	7,645	7,645	
	活動指標	ア 回 イ 回	12 17	12 80	12 80	12 75	12 80	12 80	12 80	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
	対象指標	ア 人 イ 人	194 239	239 290	239 290	239 290	239 290	239 290		
	成果指標	ア 件 イ 件	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		
	上位成果指標	ア % イ %	33.4 47.8	47.8 34.5	34.5 35	35 36	36 37	37 37		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
同和問題の解決は行政の責務であることから、部落差別の完全解決を図るため、活動を行っている運動団体に対し、市から助成を行うようになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成14年に同和対策事業特別措置法が失効し、国、県による旧対象地域への住環境整備事業の補助金は打ち切られた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
活動内容等を見直して進めていく必要がある。

事務事業名	人権啓発運動団体運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 運動団体と行政が連携し、人権啓発を推進していくことは、差別の完全解消を目指すという目標に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 差別の問題には行政が積極的に取り組んでいくべき課題である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事務は、支援団体への補助金である。支援団体の活動による。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 人権啓発が出来なくなり、差別の完全解消が出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はないため統廃合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ この事業については、運動団体の活動状況、財政状況を見ながら補助金交付をしていく予定である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 職員が事務を行うことが一番効率的であり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 運動団体への補助金交付は市民への啓発活動に繋げていくものであり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 差別を完全に解消できるように、行政、運動団体が連携し、よりやり方を考え啓発を進めていかなければならない。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	△	維持	△	△	低下	△	△	△
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○	△																	
	維持	△	△																	
低下	△	△	△																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
運動団体の活動の中に市民を対象にした講演会等を多く取り入れていく。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)